

## 入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：理工学部

### 1 学部概要 ※各学科・コース・プログラム分は後述

理工学部は、理工学分野又は工学分野の基礎学力と科学技術分野に関する課題を解決するために必要な専門的能力を有し、グローバルな視点に立ちながら地域社会づくりやイノベーション創出に貢献できる技術者と研究者、次世代の優秀な理系人材を育成する教育者の養成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通部分》 ※各学科・コース・プログラム分は後述

#### (1) 関心・意欲

- ・ 科学技術の発展に必要とされる理工学や工学分野に強い関心と学ぶ意欲があり、更には地域や社会における課題への理解力と地域貢献への意欲を持ちつつ明確な目標を持って行動できる人

#### (2) 知識・技能

- ・ 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を修得しているとともに、理工学および工学分野の学修に必要な基礎的知識及び技能を持ち、さらにそれらの能力を総合的に応用展開できる人

#### (3) 思考力・判断力

- ・ 理工学分野又は工学分野における課題を発見・探求し、解決したいという積極性を持ち、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

#### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とのコミュニケーションが円滑にとれ、相手に伝えたいことを適切に表現できる人

#### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 多様な経験をもとに協働して学び、創造性豊かで主体的に行動できる人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース・プログラム毎に後述

### 4 入学者選抜の基本方針 ※コース・プログラム毎に後述

## 【化学・生命理工学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

化学・生命理工学科では、化学、生命に関連する各科学技術分野の理工学的な諸課題を解決するための理学的な基礎学力と工学的な応用学力を統合した総合学力を有し、国際的視点に立ちながら地域社会づくりに貢献できる研究者や技術者、教育者の育成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、化学及び生命理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ 化学・生命理工学の学修に必要な基礎学力
- ・ 化学・生命分野における豊かな発想力と論理的な思考力
- ・ 化学・生命分野における課題を探究し、解決したいという積極性

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

### 4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

## <化学コース>

### 1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

化学コースでは、化学及びその関連分野に関する広範な基礎学力と課題を探究し解決できる能力を有し、地域社会と国際社会の持続可能な発展に貢献できる人間性豊かな専門技術者、研究者、教育者の育成を行います。

## 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

### (1) 関心・意欲

- ・ 化学やその関連分野への強い関心と新しい課題に挑戦する意欲を持ち、明確な目標を持って積極的に問題解決に取り組むことのできる人

### (2) 知識・技能

- ・ 化学の専門分野を学ぼうと必要の理科系・文科系にわたる基礎的知識やその展開力を修得している人

### (3) 思考力・判断力

- ・ 広い視野と論理的思考を通して化学における課題を発見・探求し、問題解決に向けた適切な判断と対処のできる人

### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 的確な表現力と周囲との円滑なコミュニケーション能力を用いて化学の知識、技術、情報等を必要な相手に正確に伝え、問題解決に取り組むことができる人

### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 化学に関連する分野において創造性豊かな発想ができ、主体的に問題の発見と解決に協働的に取り組むことのできる人

## 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」、「生物基礎・生物」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としての読解力、思考力、表現力、およびコミュニケーション能力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

## 4 入学者選抜の基本方針

### (1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識とその展開力、および理工学部学生としての自然科学全般への俯瞰的視野を重視し、理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

### (2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈主体性重視型〉

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」もあわせて総合的に評価します。選抜にあたっては化学分野への関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

### (3) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

### (4) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校や短期大学理工系学部を卒業、または、大学の理工系学部などの教育機関に2年次まで就学し、化学や関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および化学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

## <生命コース>

### 1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

生命コースでは、工学分野の基礎知識と生命科学分野の専門的知識を身につけた人材、課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者や研究者の育成を行います。具体的には、医療機器、医薬品、福祉産業分野で活躍できる人材、地域はもとよりグローバルに活躍できる人材の育成を行います。

## 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

### (1) 関心・意欲

- ・ 生命科学分野に強い関心を持ち、新しい課題に挑戦する意欲があり、明確な目標を持って行動でき、必要な相手に伝えたいことを表現できる人

### (2) 知識・技能

- ・ 生命科学分野の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養を持つ人

### (3) 思考力・判断力

- ・ 生命科学分野における課題を発見・探求し、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ、必要な相手に生命科学分野の知識を正確に表現でき伝えることができる人

### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 生命科学分野において主体的に創造性豊かな発想ができる人

## 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「生物基礎・生物」、「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

## 4 入学者選抜の基本方針

### (1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストを課し、高等学校レベルの基礎学力を評価します。個別学力試験では、数学を必須、化学、生物、物理の内1科目を選択とし、生命科学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用力を評価します。大学入学共通テストと個別試験とを用い「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。

### (2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈主体性重視型〉

個別面接試験（口頭試問を含む）で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

### (3) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

### (4) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、生命科学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および生命工学に関わる専門科目（口頭試問（面接含む））を総合して選抜します。

## 【物理・材料理工学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

物理・材料理工学科では、数理科学、物理科学、物質科学、材料工学の各分野を担える広範な専門基礎学力と、関連する諸課題を探究し解決できる能力を有し、地域社会と国際社会の持続発展に貢献できる人間性豊かな技術者、研究者、教育者の育成を行います。

- 2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》** ※学部分は前述，各コース分は後述
- ・ 高校教育の中で，数学，物理，化学，英語などを十分に学習し，本学科の学修に必要な基礎学力
  - ・ 数理科学，物理科学，物質科学，材料工学に強い関心を持ち，環境との調和に留意しつつ，これらの発展に大きな貢献をしたいという意欲
  - ・ 強い勉学意欲と，新しい課題に挑戦する積極性
- 3 入学前に修得しておくことを期待する内容** ※コース毎に後述
- 4 入学者選抜の基本方針** ※コース毎に後述

## ＜数理・物理コース＞

- 1 コース概要** ※学部・学科分は上記参照
- 数理・物理コースでは，物質の性質から宇宙の構造まで，自然界の仕組みを探究する中で深く論理的に考える力を養い，学んだ知識や考え方を活用して，社会に貢献できる人材の育成を行います。
- 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》** ※学部・学科分は上記参照
- (1) **関心・意欲**
- ・ 数理・物理科学に高い関心があり，新しい課題に挑戦する積極性と，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人
- (2) **知識・技能**
- ・ 数理・物理科学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識やその展開力を持つ人
- (3) **思考力・判断力**
- ・ 数理・物理科学分野における課題を発見・探求し，広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人
- (4) **表現力・コミュニケーション能力**
- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ，必要な相手に数理・物理科学分野の知識を正確に表現でき伝えることができる人
- (5) **主体性・創造性・協働性**
- ・ 数理・物理科学分野における課題を積極的に探求し，創造性や協働性を持ってその解決を目指す人
- 3 入学前に修得しておくことを期待する内容**
- ・ 数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」の内容の理解と数学的思考力
  - ・ 理科：「化学基礎・化学」，「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
  - ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
  - ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
  - ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

- 4 入学者選抜の基本方針**
- (1) **一般選抜（前期日程）（後期日程）**
- 大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」，調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では，入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視し，理工学部として俯瞰的視野を持つ人物を求めます。理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。
- (2) **学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞**
- 個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し，「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。
- (3) **私費外国人留学生選抜**
- 大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。
- (4) **その他（第3年次編入学試験）**
- 高等専門学校を卒業，または，大学などの教育機関で2年次まで就学し，数理科学，物理科学，物質科学につ

いてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（数学（筆記試験）、英語（外部検定活用）および応用数学・物理学・物性学に関わる専門科目（口頭試問（面接含む））を総合して選抜します。

## <マテリアルコース>

### 1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

マテリアルコースでは、すべての産業を支える“材料”の性質を原子・分子レベルから科学的に理解し、新しい材料やそれらの製造・評価技術の開発につながる専門知識と技術を修得して、社会に貢献できる人材の育成を行います。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

#### (1) 関心・意欲

- ・ 材料工学・物質科学に高い関心があり、新しい課題に挑戦する積極性と、地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人

#### (2) 知識・技能

- ・ 材料工学・物質科学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識やその展開力を持つ人

#### (3) 思考力・判断力

- ・ 材料工学・物質科学分野における課題を発見・探求し、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

#### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ、必要な相手に材料工学・物質科学分野の知識を正確に表現でき伝えることができる人

#### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 材料工学・物質科学分野における課題を積極的に探求し、創造性や協働性を持ってその解決を目指す人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

### 4 入学者選抜の基本方針

#### (1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では、入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視し、理工学部として俯瞰的視野を持つ人物を求めます。理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

#### (2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）<主体性重視型>

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

#### (3) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

#### (4) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、材料工学や物質科学分野についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および材料に関わる専門科目（口頭試問（面接含む））を総合して選抜します。

## 【システム創成工学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述，各コース分は後述

システム創成工学科では，電気電子通信，知能・メディア情報，機械科学，社会基盤・環境の各科学技術分野に関する広範な基礎学力と工学分野における課題を探求し，解決するために必要な専門的能力を有し，地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる技術者や研究者の育成を行います。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述，各コース分は後述

- ・ システム創成工学を学ぶに相応しい数学，物理，化学，英語などの基礎学力
- ・ 電気電子通信，知能・メディア情報，機械科学，社会基盤・環境の各分野に強い関心を持ち，豊かな発想力と論理的な思考力を有し，自ら積極的に勉学しようとする意欲
- ・ システム創成工学分野における課題を積極的に解決しようとする探究心

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

### 4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

## <電気電子通信コース>

### 1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

電気電子通信コースでは，自然との共生を考えた再生可能エネルギー，先端技術を支えるエレクトロニクスデバイス，高度情報化社会を支える通信ネットワークなどの専門分野を担う，十分な専門的能力を身に付けた人材の育成を目標とし，基礎理論から実用的技術開発まで広範な教育・研究を行います。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

#### (1) 関心・意欲

- ・ 電気電子通信工学分野に強い関心を持ち，高い勉学意欲と新しい課題に挑戦する意欲があり，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人

#### (2) 知識・技能

- ・ 電気電子通信工学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識を持ち，知識を展開する能力を持つ人

#### (3) 思考力・判断力

- ・ 電気電子通信工学分野における課題を広い視野で見発見・探求し，論理的に思考を深めることで柔軟に判断を行うことができる人

#### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 電気電子通信工学の知識や技能を身につけるために，周囲とコミュニケーションが円滑にとれ，論理的に説明し，表現することができる人

#### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 電気電子通信工学分野において創造性豊かな発想ができ，明確な目標を持って行動しつつ，高い技術と豊かな教養を多様な人々と継続的・主体的に学ぶことができる人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

## 4 入学者選抜の基本方針

### (1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では、入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視し、理工学部として俯瞰的視野を持つ人物を求めます。理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

### (2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

### (3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜工学経験・主体性重視型＞

地域創生特別プログラム（ものづくり系）は、総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で、提出された志望理由書・自己推薦書により、「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また、調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い、個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また、プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

### (4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

### (5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、電気電子通信工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および電気回路・電磁気学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

## ＜知能・メディア情報コース＞

### 1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

知能・メディア情報コースでは、安心・安全で豊かな生活環境を支えるための高度で多様な情報システムを構築できる人材の育成を目標とし、コンピュータの基礎理論から知能情報工学、メディア情報工学に至るまでの広範な教育・研究を行います。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

#### (1) 関心・意欲

- ・ 情報工学に強い興味と関心を持ち、社会や生活上の様々な問題の解決に情報技術を通じて貢献しようとする意欲を持つ人

#### (2) 知識・技能

- ・ 情報工学を学ぶための基礎的な知識と、その知識を活用する能力を持つ人

#### (3) 思考力・判断力

- ・ 情報工学を学ぶための論理的思考能力を持つ人

#### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 他人の意見を理解し、自分の考えを的確に伝えられる人

#### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 情報工学分野の課題を解決するために、人と目標を共有し、自ら進んで取り組み、現状を改善する提案や行動ができる人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」などの内容の理解と科学的思考力

- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

#### 4 入学者選抜の基本方針

##### (1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」，調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では，入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視します。理科系・文科系にわたる幅広い知識に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

##### (2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈関心意欲重視型〉

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し，「思考力・判断力」，「表現力・コミュニケーション能力」と「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

##### (3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈工学経験・主体性重視型〉

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉は，総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で，提出された志望理由書・自己推薦書により，「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また，調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い，個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また，プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては，工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし，各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに，主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

##### (4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

##### (5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業，または，大学などの教育機関で2年次まで就学し，情報工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および情報工学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

#### 〈機械科学コース〉

##### 1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

機械科学コースでは，先端的なものづくりの分野において，次世代の科学技術を創出することにより持続可能な社会を実現することを目指し，環境負荷の低減や省エネルギーなど，多様な社会の要求に柔軟に対応しながら，機械システムを創成できる能力を身に付けた機械系技術者を育成します。

##### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

###### (1) 関心・意欲

- ・ 機械科学に興味を持ち，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人

###### (2) 知識・技能

- ・ 機械科学を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養を持つ人

###### (3) 思考力・判断力

- ・ 機械科学を学ぶために相応しい論理的な思考力と判断力を持つ人

###### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ，必要な相手に知識を正確に伝えることができる人

###### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 機械科学における課題を積極的に探求し，解決するための行動力や創造性，協働性を持つ人



### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

### 4 入学者選抜の基本方針

#### (1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストを課し、高等学校レベルの基礎学力を評価します。個別学力試験では、数学を必須、化学、物理の内1科目を選択とし、機械科学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用力を評価します。大学入学共通テストと個別試験とを用い「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。

#### (2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈主体性重視型〉

個別面接試験（口頭試問を含む）で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

#### (3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈工学経験・主体性重視型〉

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉は、総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で、提出された志望理由書・自己推薦書により、「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また、調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い、個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また、プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

#### (4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

#### (5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、機械工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。在学中の成績、学力試験（数学（筆記試験）、英語（外部検定活用））、面接を総合して選抜します。

### 〈社会基盤・環境コース〉

#### 1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

社会基盤・環境コースでは、安全・安心な社会基盤の整備をはじめ、既設構造物の長寿命化、環境問題の克服、循環型社会の実現を目指し、建設工学・環境工学・防災工学を専門分野とした教育研究を展開し、これらの専門分野に精通した建設技術者や研究者、教育者の育成を行います。

#### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

##### (1) 関心・意欲

- ・ 自然と調和し、安全・安心な社会の構築のために、社会基盤・環境工学に関する様々な課題を積極的に探求し、新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人

##### (2) 知識・技能

- ・ 社会基盤・環境工学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や技能を持つ人

### (3) 思考力・判断力

- ・ 持続可能な社会の実現のために、社会基盤・環境工学の専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち、広い視野で適切に判断できる力を持つ人

### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ、必要な相手に社会基盤・環境工学の専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し、伝えることができる人

### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 社会基盤・環境工学の専門分野において主体的に創造性豊かな発想ができる人

## 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

## 4 入学者選抜の基本方針

### (1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストを課し、高等学校レベルの基礎学力を評価します。個別学力試験では、数学を必須、物理、化学の内1科目を選択とし、建設工学・環境工学・防災工学に関する専門分野を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用力を評価します。大学入学共通テストと個別試験とを用い「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。

### (2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別面接試験（口頭試問を含む）で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「表現力・コミュニケーション能力」と「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。

### (3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜課題挑戦重視型＞

地域創生特別プログラム（防災・まちづくり系）の選抜方法は総合型選抜Ⅰで行います。第1次選考は調査書および自己推薦書を基に評価します。第2次選考は、面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第1次選考と第2次選考の2段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」、「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績、または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

### (4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

### (5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、社会基盤・環境工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および社会基盤・環境工学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

## 【特別プログラム（2プログラム）】

理工学部には、次の特別プログラムがあります。特別プログラム履修者は、所属する学科及びコースが求める能力・資質に加え、それぞれの特別プログラムが求める能力・資質を備えた入学者を求めています。

## <地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉>

〔システム創成工学科の電気電子通信コース、知能・メディア情報コース及び機械科学コースが対象〕

### 1 プログラム概要 ※学部・学科・コース分は上記参照

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉では、ソフトウェア・電子回路・機械システムなど、ものづくりに携わることに強い意欲を持つ学生を対象に、技術革新を求める地域企業のフロンティアリーダーや、最先端技術を持つ企業の中核エンジニアとして活躍できる高度な専門技術を身につけた技術者を育成します。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《プログラム分》 ※学部・学科・コース分は上記参照

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉では、ものづくりに強い興味と関心を持ち、地域産業の活性化に資する高度な専門技術を身に付け、地域の企業等で活躍し、独自技術を芽吹かせようとする高い意欲を持った次のような入学者を求めています。

#### (1) 関心・意欲

- ・ものづくりに関心を持ち、地域の企業で独自技術を開発したいという意欲を持つ人

#### (2) 知識・技能

- ・工学を学ぶために必要な基礎的な学力を持つ人

#### (3) 思考力・判断力

- ・ものごとのしくみを理解し、ものづくりを論理的に実践するために必要な思考力と判断力を持つ人

#### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・チームでプロジェクトを推進する際に必要なコミュニケーション能力を持つ人

#### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ものづくりに対する経験と創造力を持ち、課題解決に向けて主体性を持って協働できる人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における内容の理解と思考力
- ・理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」などにおける内容の理解と思考力
- ・その他：国語、英語などにおける読解力および地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの教養と社会事象に対する関心及び情報における情報活用能力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

### 4 入学者選抜の基本方針

#### (1) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈工学経験・主体性重視型〉

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉は、総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で、提出された志望理由書・自己推薦書により、「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また、調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い、個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また、プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

## <地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉>

〔システム創成工学科の社会基盤・環境コースが対象〕

### 1 プログラム概要 ※学部・学科・コース分は上記参照

地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉では、東日本大震災からの復興や今後想定される災害への備えのために、建設工学・環境工学・防災工学を専門分野とした教育を展開し、高い専門性と地域社会で活躍する実践力を有する建設技術者や研究者、教育者の育成を行います。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《プログラム分》 ※学部・学科・コース分は上記参照

#### (1) 関心・意欲

- ・自然と調和しながらも災害に強い社会の構築のために、防災・まちづくりに関する様々な課題に関心を持

ち、新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人

**(2) 知識・技能**

- ・ 防災・まちづくりに関する専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や技能を持つ人

**(3) 思考力・判断力**

- ・ 災害に強い社会の実現のために、防災・まちづくりの専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち、広い視野で適切に判断できる力を持つ人

**(4) 表現力・コミュニケーション能力**

- ・ 周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ、必要な相手に防災・まちづくりの専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し、伝えることができる人

**(5) 主体性・創造性・協働性**

- ・ 防災・まちづくりに関する様々な地域課題において、主体的に創造性豊かな発想ができ、マネジメント力を持つ人

**3 入学前に修得しておくことを期待する内容**

- ・ 数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」における内容の理解と思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」，「物理基礎・物理」などにおける内容の理解と思考力
- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」における内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

**4 入学者選抜の基本方針**

**(1) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈課題挑戦重視型〉**

地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉の選抜方法は総合型選抜Ⅰで行います。第1次選考は、調査書および自己推薦書を基に評価します。第2次選考は、面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第1次選考と第2次選考の2段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」，「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績，または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

(各コース共通)

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目<各コース・各プログラムで共通>

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
個人面接	編入学試験	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由について面接を行い、提出書類に関する確認を行う場合もあります。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等を評価します。
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型 総合型 I	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由や当該専門分野に関する一般的知識について面接を行います。高校の基礎学力を確認するために、口頭試問を行います。
プレゼン テーション	総合型 I	各プログラムにおいて出された課題に対する関心・意欲、知識・技能、思考力・判断力、表現力・コミュニケーション能力、主体性・創造性・協働性を総合的に評価します。
出願理由書・ 志望理由書	学校推薦型 総合型 I 私費外国人留学生	志望するコースやプログラムへの出願・志望理由について自筆で作成してください。志望理由が、各コース・各プログラムの入学者受入の方針に合致しているかを総合的に評価します。
推薦書・ 自己推薦書	学校推薦型 総合型 I	推薦書については、文字数は任意です。自己推薦書については、自筆で作成してください。各プログラムで学修する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期)	高等学校での生活状況 (特別活動・指導上の参考となる諸事項等) により、主体性や協働性がどのように培われてきたかを総合的に評価します。資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合には参考資料とすることもあります。
	学校推薦型 総合型 I	高等学校での学力および生活状況 (特別活動・指導上の参考となる諸事項等) について総合的に評価します。各プログラムにおいては、資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合には参考資料とすることもあります。
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械科学コースのみ)	基礎学力を確認するために、成績証明書と調査書を用い、高等専門学校や短期大学等での生活状況 (特別活動・指導上の参考となる諸事項等) を併せて総合的に評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目 [入学者選抜方法と求める学生像の関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲	知識・技能	思考力・ 判断力	表現力・ コミュニケー ション能力	主体性・ 創造性・ 協働性
大学入学共通 テスト	一般 (前期)					
	一般 (後期)		○	○		
個別学力検査 <教科>	一般 (前期)					
	一般 (後期)		○	○		
	編入学試験					
個人面接	編入学試験	○			○	
	学校推薦型	○	○	○	○	○
個人面接 (口頭試問を含む)	総合型 I	○	○	○	○	
	総合型 I	○		○	○	○
出願/志望理由書・ (自己)推薦書	学校推薦型	○			○	
	総合型 I	○				○
	私費外国人留学生	○			○	○
日本留学試験	私費外国人留学生		○	○		
調査書	一般 (前期) 一般 (後期)					○
	学校推薦型 総合型 I	○	○			○

---

成績証明書・  
調査書

編入学試験  
(機械科学コースのみ)

○

○

○

---

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。